

会議結果報告書

令和6年10月15日

会議の名称	令和6年度第2回志木市立図書館協議会
開催日時	令和6年10月15日(火) 15時00分～15時30分
開催場所	柳瀬川図書館 2階 視聴覚室
出席委員	原藤光委員(会長)、竹前榮二委員(職務代理)、亀井沢真喜子委員、加藤紗千子委員、西浦建貴委員、矢部英子委員、石川敬史委員 (計 7人)
欠席委員	阿部剛委員、佐藤淳委員、木村幸子委員 (計 3人)
説明員職氏名	(柳瀬川図書館) 桜谷館長 (いろは遊学図書館) 竹田館長 (宗岡公民館) 佐野館長 (宗岡第二公民館) 吉田館長 (計 4人)
議題	(1) 令和5年度志木市立図書館の事業報告について (2) その他
結果	(傍聴者 0人)
事務局職員	早川主査

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開 会

2 あいさつ 原藤会長

3 議事

(1) 令和5年度志木市立図書館の事業報告について

※配布資料を基に各図書館・図書室より説明

<質疑応答>

会長) 公民館と図書館の連携について伺いたい。いろは遊学図書館はいろは遊学館が併設されているが、いかがか。

説明員) いろは遊学館利用者のニーズを考慮し、図書館資料の発注を行っている。

会長) 小学校との連携は、いかがか。

説明員) 小学1年生については、週1回、図書館利用の時間があるので、その際に、子供たちと触れ合う機会がある。その際に、本の紹介を行うなど、連携を行っている。また、学校の先生とは毎朝打ち合わせを行い、今日の予定の報告など密に行い、学校の状況の把握に努めている。

会長) いろは遊学館との連携を密にすることで、志木小学校の子どもだけでなく、大人の利用も増えるのではないかと、思い伺った次第である。

説明員) 子どもたちの利用は多いが、大人の利用については、夕方など少なく感じるときもあるので、いろは遊学館と連携し、大人の利用者も増やしていきたい。

会長) 柳瀬川図書館や公民館はボランティアなどの団体と連携を図っているのか。

説明員) コロナ禍の際は一時「しき図書館パートナーズ」との連携事業を休止したが、今は事業を再開している。定期的に行っているボードゲーム、村上春樹読書会のほかに、令和5年度は高齢者向け、親子向けの事業も行った。また、しき図書館パートナーズ養成講座を実施し、新しいメンバーが4人ほど増えた。

説明員) 宗岡公民館は、公民館事業そのものが、小さいお子さんを対象とした事業が少ないので、読み聞かせのために、公民館にいらっしゃる方を確保するというのが難しい状況である。

説明員) 宗岡第二公民館は、図書室と同じ階に子育て支援センターがある。前年度の反省を生かし、令和6年度からは、図書室内だけでなく子育て支援センター内でも読み聞かせを実施している。

委員) 柳瀬川図書館事業の視覚障がい者サービスへの対面朗読であるが、利用人数が少ないのではないかと。PRに努めてはいかがか。

説明員) 朗読者の高齢化や、利用者自身も来館するのが困難であるなどして、利用希望が

減少した。オンラインによる朗読サービスを実施している館もある。柳瀬川図書館で行っているサービスとして、障がいにより来館が困難な方へ家庭配本を行っており、そちらと併せて広報していきたい。

委員) 録音図書の作成というのは、どのように行っているのか。

説明員) 録音資料は、視覚に障がいがある方が資料を活用できるよう、音声化したものである。多くの方に利用いただけるような作品を図書館で選び、市内団体に作成を依頼している。

委員) 柳瀬川図書館共催事業の「大人のための朗読会」は、どのようなものか。

説明員) 図書館で活動している朗読サークルの発表を行う場で毎年1回行っている。1時間半ほどの会で大人向けの小説などを朗読している。人気の事業である。

4 その他
特になし

5 閉会